

発行：愛知県社会保障推進協議会 TEL:052-889-6921 FAX:052-889-6931
E-mail: syahokyo@aioren.gr.jp ホームページ <http://syahokyo.aioren.gr.jp/>

「知らないで大損！知ってトクする」パンフ

新刊2022年版完成

1月24日到着、すでに申込みが始まりました。

「知ったトクパンフ」が納品され、早速普及が始まっています。保険医協会では、会員医療機関への案内を始めたところ、2日間で30医療機関の注文が寄せられて、どんどん増えています。負担増の現在、知ったトクの魅力を伝え、普及しましょう！

中日新聞・東京新聞への掲載日程の連絡がありました。楽しみにしましょう。【保険医協会・日下氏】
社保協へも、問い合わせや申し込みが届いています。

注文、順次発送。1冊 100円+送料実費
2月12日中日新聞・東京新聞に掲載
の予定

○申込みは 愛知社保協ホームページ、QRコード、FAXからも OK

愛知県社会保障推進協議会

[ホーム](#) [講師要請・チラシ等](#) [行事予定表](#) [お問い合わせ](#)

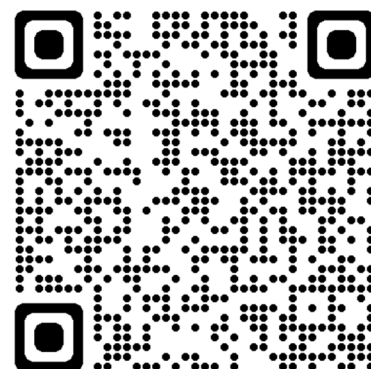
[愛知社保協とは](#)
[社保協ニュース](#)
[国・自治体への要請書](#)
[愛知自治体キャラバン](#)
[知ったトクパンフ](#)
[リンク・加盟団体一覧](#)

知ったトクパンフ 2022年版 発行しました

医療・介護・税金のさまざまな負担軽減策をまとめた「知ったトクパンフ」(2022年版)を発行しました。申込みは、下記フォームから(1冊 100円+送料おむね10冊まで100円)

<http://syahokyo.aioren.gr.jp/panf/2016/orderpanf>

2022年 新年のご挨拶



☆☆オミクロン感染が急速拡大。感染対策・健康管理を厳重に！！

最新版★

改訂の度、大好評！

知っトクパンフ

2022年版 が完成！



前回（2019年）改訂後に行われた制度の変更などを反映しました



「わかりやすい」と好評の
医療費控除のページ

パンフは
A5判
28ページ



ご注文は…保険医協会・医会、保団連まで

「知っトクパンフ」とは？

パンフでどんなことが分かるの？

消費税の増税、保険料アップ、医療費の窓口負担増や介護保険の食費・居住費の負担増など、社会保障の改悪が続いています。しかし、申請すれば受けられる「負担が軽減される制度」があります。「知っトクパンフ」は、これらの制度を利用することで、少しでも負担を軽減することを目的に発行しています。

制度を 分かりやすく解説！

どんな方が見ても分かるように、「とにかく分かりやすく」、「窓口申請に行くための第一歩」としての役割を重視し、内容や説明を工夫しています。

「知っトクパンフ」を 持って、申請窓口へ！

パンフでは制度ごとに、制度概要や申請方法、申請先などを紹介しています。「知っトクパンフ」を持って自治体の窓口に行けば、申請する際もスムーズです！



内容は？

「知っトクパンフ」は、「税金」「医療」「介護」「障害」「生活保護」「その他」の項目に分かれています。



〈解説内容〉

- 「税金」：収入・所得・課税所得の違いなど、基本的なことから、確定申告の際に役立つ「医療費控除」など。
- 「医療」：窓口負担が高額になった際に使える「高額療養費制度」など。
- 「介護」：「介護保険の食事代・居住費」の軽減など。
- 「障害」：障害者手帳の交付や特別障害者手当など。
- 「生活保護」：生活保護の月額支給額、就学援助制度の紹介など。
- 「その他」：小児福祉などの治療用医薬品は健康保険の対象になるなど、忘れがちなお役立ち制度を掲載。

知っトクパンフに寄せられた声

- 障害者手帳により受けられる主な施策の表が大変役に立ちました。市民税の控除について市に問い合わせたところ、確定申告のやり直しが必要でしたが、訂正申告し、控除されることになりました。
- 高額療養費制度について、詳しく説明されていますね。さっそく市の後期高齢者医療相談窓口に出向き、申請し、一部返金されました。ありがとうございました。

待合室で
ご利用
ください



医療費の負担や家族の介護など、患者さんは様々な問題や悩みを抱えています。医療機関で患者さんから相談を受けた際にも役立ちます。待合室に置いておくだけでも、困っている患者さんの手助けとなります。

ぜひご利用ください！

1月28日国会行動 合計635,534筆の署名提出



介護署名 196,073 筆！
いのち署名 177,310 筆！
年金署名 90,933 筆！75 歳以上
医療費 2 倍化中止 171,218 筆！
愛知社保協、4力所 Web 8名参加
2月6日地元国会議員へ要請行動

全労連社会保障闘争本部ニュースNO.160 全労連社会保障闘争本部発行 2022年2月1日抜粋

全労連は、1月28日、中央社保協や民医連、医労連などとともにいのち署名や介護署名などを提出する国会行動を行いました。コロナ感染が広がる中でしたが、300人以上の参加がありました(会場110人、オンライン160回線)。集会には20人の国会議員(うち秘書のみ9人)が駆け付け、あいさつするとともに、いのち守る政策への転換に向けての決意を述べました。介護署名196,073筆、75歳以上医療費2倍化中止署名171,218筆、年金署名90,933筆を提出しました。新しいのち署名は集約のみ発表177,310筆となりました。終了後、国会議員要請を行いました。

開会に先立ち行われた情勢学習会では、中央社保協代表委員の住江憲勇・保団連会長が開会あいさつし、「『新しい資本主義』は旧態依然の大企業と富裕層支援の新自由主義に他ならない」「2022年度予算案は社会保障自然増2200億円を削減し、法人税と富裕層の所得税の課税強化による所得再配分機能を全く否定している」と指摘し、「新自由主義推進の岸田自公政権と補完勢力を上回る野党共闘の大きな拡大のための世論を作り上げよう」と呼びかけました。佛教大の横山壽一教授による「新たな国会情勢下での新しいのち署名、社会保障拡充のたたかい」と題する講演の後、統一署名提出行動を行いました。

請願採択めざし、市民と野党の共闘、共同の輪を大きく広げよう

中央社保協の是枝一成事務局次長が行動提起を行い、「市民と野党の共闘を進め、賛同議員を国会で多数にしていけることが大事」「地域からの運動で主権者として通常国会での請願採択の実現を目指し共同の輪を大きく広げよう」と呼びかけました。終了後、参加者は国会議員の要請へ。介護7団体による介護署名提出行動が行われました。



〇いのち・くらし・社会保障立て直せ一斉行動日程

2月25日、4月25日全国一斉署名行動 3月2日、5月26日署名提出

●11人の議員が参加し、あいさつしていただきました。

倉林明子(参・共産・京都)、田村貴昭(衆・共産・九州)、松木けんこう(衆・立憲・北海道2区)、紙智子(参・共産・比例)、岩渕友(参・共産・比例)、山添拓(参・共産・東京)、宮本岳志(衆・共産・近畿)、山岸一生(衆・立憲・東京9区)、大石あきこ(衆・れいわ・近畿)、宮本徹(衆・共産・東京)田中健(衆・国民・東海)

●9人の秘書の方が参加してくださいました。議員のお名前を紹介します(敬称略)

馬淵澄夫(衆・立憲・奈良1区)、米山隆一(衆・立憲・新潟5区)、阿部知子(衆・立憲・神奈川12区)、鎌田さゆり(衆・立憲・宮城2区)、末次精一(衆・立憲・九州)、下条みつ(衆・立憲・長野2区)、山崎誠(衆・立憲・南関東)、宮沢由佳(参・立憲・山梨)、小西洋之(参・立憲・千葉)

名古屋市の国保と高齢者医療をよくする会

2021年度「国保・高齢者・介護改善」各区訪問要請



1月13日、名古屋市内を4班に分け会の代表110人が各区を訪問し、要請を行い、各区担当課から87人が対応されました。

「国保」は 保険料引き下げや減免制度の拡充、18歳未満の均等割減免、コロナ対策の収入減少世帯の保険料減免。保険料滞納に関わる、資格証明書や短期保険証の発行、差押えや滞納処分について、現状の説明や意見交換し改善を求めました。

「介護制度」改善では、保険料引き下げや保険料・利用料の減免の拡充、不足する特養整備、厚生院の「廃止」等について、懇談しました。

「コロナ禍で所得が上がらない上に、保険料負担が重いという声は聞く。税金や協会けんぽ等に比べて国保料は高いと思う」「国保は事業主負担がない分、負担が多い」「保険料の負担感を感じられる方は多い」「窓口

でも国保が高くて払えないと言う声が多くある」などの発言がありました。一方、「保険料の算定方法からすれば妥当」「負担率が一律高いとは言えない。保険制度である限り、際限なく保険料が上がるのはやむを得ない」等の発言も見られ、懇談の必要性を確認しました(詳しくは、別途報告書参照ください)。なお、1月末に予定した名古屋市担当課との懇談は、コロナ感染拡大のため延期となりました。

□稲沢市国保 子どもの均等割18歳まで5割減免 4月から

稲沢市は1月25日の国保運営協議会で、今年4月から、国が未就学児の均等割保険料を公費で5割軽減するタイミングに合わせて、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、市独自で高校生までの子どもに対して減免制度を創設することを明らかにしました。日本共産党の曾我部議員が12月議会でも実現を求め、前向きな答弁を引き出していました。国の減免対象は、未就学児約560人。均等割を5割軽減。また、7割、5割、2割と均等割が軽減されている世帯では、7割+1.5割、5割軽減では+2.5割、2割軽減では+4割に軽減割合を増やします。稲沢市は、この制度を小学生から高校生まで独自に拡大。対象者は役1540人。1864万7千円の年間事業費を予定しています。

□2022年「後期高齢者医療制度の改善を求める請願書」提出、

広域連合議会2月14日開催

今回の定例会で2年ごとの改定の保険料改定を行います。剰余金を使って平均では1000円ほど下がりますが、所得割率が少し下がるため、中間所得層の保険料は下がるものの、賦課限度額が引き上げになる関係と、均等割額は上がるので、高所得層の保険料と低所得層の保険料は上がります。

2月14日(月)午後1時30分～メルパルク名古屋で議会です。今のところ、傍聴はできる見込みです(定員15人)が、コロナ対策で傍聴できるか、直前まで確認を行います。

広域連合議会へ提出の請願に対し、紹介議員は 伊藤建治議員(春日井市)、江幡満世志議員(大口町)、さいとう愛子議員(名古屋市)の3名のみとなっています。

第23回あいち社会保障学校

コロナ禍だからこそ、暮らしと社会保障の充実を

①記念講演「社会保障切り捨て日本への処方せん」(仮題) ～ 新型コロナウイルス感染症を乗り越えて ～



講師: 本田 宏氏

NPO法人医療制度研究会副理事長、外科医、前埼玉県栗橋病院院長補佐、弘前大学医学部講師。1954年生まれ、【著書】「Dr.本田の社会保障切り捨て日本への処方せん 新型コロナウイルス感染症を乗り越えて三訂版」(自治体研究社 2021年)、「日本の医療崩壊をくい止める」(泉町書房 2021年)、「日本の医療はなぜ弱体化したのか 再生は可能なのか」(合同出版、編著 2021年)

②2021年自治体キャラバンまとめの報告

10月実施の結果、懇談内容・アンケートの特徴点などを報告します

③「知っとくパンフ 2022年版」の紹介

新版「知っとくパンフ 2022年版」の概要を紹介します

と き 3月12日(土)

13時開場 13:30~16:30

ところ 労働会館東館ホール&リモート

住所: 名古屋市熱田区沢下町9-7

交通: 地下鉄「金山駅」下車 東口より徒歩10分

地図: <https://roren.net/roudoukaikan/map.htm>

リモート参加について

Zoomを使用してリモート参加出来ます。リモートを希望する場合は、事前登録が必要です。下記のアドレスまたは、QRコードより行ってください。

事前登録アドレス

<https://bit.ly/3KtzGK3>



共催

愛知県社会保障推進協議会
愛知県労働組合総連合

■連絡先

名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館
電話052-889-6921(社保協) 電話052-871-5433(愛労連)

参加申し込み 下記にご記入いただきファックスにてお申込みください。FAX (052) 889-6931

団体・組合名	名前	名前	名前
	名前	名前	名前
連絡先	名前	名前	名前